

## 2年生 不幸とは幸せと気づかないこと「いのちの授業」講演会

2025.5.21

総合的な探究の時間で、滝高等学校の教員でもある坂野貴宏さんを講師としてお迎えし、「いのちの授業」講演会を行いました。坂野さんは2020年に次女の春香さんを脳腫瘍のため亡くされています。坂野さんご家族は、春香さんが生前言われた「人の心に何かを刻みたい」「人の役に立ちたい」という想いを胸に、春香さんが生きた証を刻むため、『春の香り』という春香さんご家族の闘病生活を記録した本や、春香さんが描かれた絵本『×くん』の出版をはじめ、様々な場所でご講演をされています。春香さんの生涯や闘病生活の様子、春香さんの想いについて、5つのメッセージを元にお話をいただきました。生徒はメモを取りながら、熱心に講演を聞き入っていました。

学び続けること、自分で人生を選択していくこと、小さなことにも幸せを見いだせること、人の役に立つこと、自分らしくあることこそが生きることであるという春香さんご家族の強烈なメッセージが胸に突き刺さりました。

「不幸とは幸せと気づかないこと 敗北をおおいに楽しむこと どんどこころにも美しいものはある それこそが運命」

今、私たちが当たり前だと思っていることが、とても有難いことであると強く感じる機会となりました。これからの学びへの向き合い方や生き方、人生をどのように過ごすのかを考えさせられる貴重な時間となりました。「春香さんの言葉を心に留め、小さなことに幸せを感じられる人になりたい。」「自分自身を否定的に考えてしまうことがあります、物事を様々な視点で捉え、今回学んだことを今後の生活に生かしていきたい。」など生徒から感想が聞かれました。

